

カーブの快進撃など大いに盛り上がった夏が終わり、さわやかで過ごしやすい秋は、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」などと言われるように、猛暑で疲れた体を癒し、体力や教養の充実に適した季節です。一方、夏の疲れが出易いのも今の時期です。睡眠と栄養をしっかりとって体調管理に今一度気をつけてください。さわやかな秋空のもと、充実した秋をお過ごしください。



職員紹介



今年、認知症看護認定看護師となりました。

認知症について、多くの方が「訳が分からなくなる」「なりたくない」と感じていることと思います。では、認知症の方本人はどう思

4階病棟 樹野由佳 ているのでしょうか。同じように「自分が自分でないような感じがする」「悲しい」と感じています。認知症になっても喜びや悲しみといった感情・思いは健康な方と変わりありません。ただ、それを相手に伝えることが困難になるのが認知症です。記憶障害だけでなく言葉が出にくくなる、物事を順序立てて行うことが困難になるなど、症状には個人差があります。ご本人の出来る部分は尊重し、出来ない部分を精一杯サポートする、それが認知症看護認定看護師の役割と考えています。認知症は早期に発見できればその進行を遅らせることが可能です。当院にはもの忘れ認知症相談医のオレンジドクターもいますので、認知症の方やご家族様だけでなく、認知症かもしれないなど、お悩みのある方は遠慮なくご相談ください。よろしくお願いたします。

『在宅看取り』

県立安芸津病院訪問看護ではH27年10月から、「訪問看護緊急連絡対応」を開始し24時間の連絡体制を整え、「在宅看取り」に取り組んでいます。これまでに、訪問看護緊急連絡対応は6名の方が利用され23件の緊急対応を行い、1名の方がご家族に見守られご自宅で亡くなりました。私たち訪問看護師は、「住み慣れた家で過ごしたい」というご本人の思いや、それを「叶えさせたい」というご家族の思いに寄り添いながら在宅看取りを支援させていただきます。

在宅看取りでの具体的なケア内容は、ご本人の状況に合わせた日常生活の援助、痛みや苦痛の緩和、多職種共同チームケアの連携強化、ご家族の精神的支援、エンジェルケア、などがあります。多職種共同チームケアの連携強化は、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問看護師等の専門職とご家族を含めた在宅看取りに関わる全ての方が集まる場を設け、どのように支援すればご本人の思いを叶えることができるかを話し合います。また、看取る側のご家族の思いは錯綜し揺らぎ、それは不安へとつながります。そのようなときは、ご家族の思いを聞かせていただき少しでも不安な気持ちが軽減するよう時間をとりお話しをさせていただきます。在宅看取りでの主役はご本人とご家族であり医療者の介入は限られますが、互いの思いを共有し前に進むことが住み慣れた家で過ごしたいという思いを叶える近道ではないかと考えています。ご自身、ご家族で在宅看取りに関心のある方は訪問看護師にお声をかけてください。



糖尿病予防チームからのお知らせ

日本糖尿病学会と日本老年医学会から「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標値」が発表されました。今までは、年齢に関係なく合併症の予防のために7.0%以下を目標としていましたが、今回65歳以上の高齢者を年齢や健康状態、治療内容などで区切り、個々の患者様に合わせた治療が行えるよう変更されました。

「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標」基本的な考え方

- (1) 血糖コントロールの目標は、患者様の状態、年齢、認知機能、体の機能、その他の疾患の有無、重症の低血糖を起こす危険性、余命などを考慮して個別に決めます。
- (2) 重症の低血糖を起こす危険性がある方は、目標の下限値を決めて、より安全に治療を行います。
- (3) 高齢者では、下の表の目標値や目標下限値を参考にしながら、患者様個々の治療を重視し、柔軟な対応を行います。



世界糖尿病デーは、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発活動を推進することを呼びかける日です。わが国でも、日本糖尿病学会が中心となって、各地で有名な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動を行っています。当院でも、11月12日の「火とグルメの祭典」で、ブースで糖尿病の啓発活動や血管年齢測定を行います。ご自身やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考えるきっかけにしたいと思っています。是非皆様お誘いあわせの上、お立ち寄りください。スタッフ一同お待ちしております。(写真は「火とグルメの祭典」での啓発活動です)

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標 (HbA1c値)

高齢者の目標値		分類1	分類2	分類3
認知機能		正常 かつ	軽い障害 または	認知症など または
日常生活動作		自立	少し低下	大きく低下
低血糖が心配される薬	なし	7.0%未満(HbA1c)	7.0%未満	8.0%未満
	あり	65~74歳 7.5%未満 下限 6.5%	75歳以上 8.0%未満 下限 7.0%	8.0%未満 下限 7.0%
				8.5%未満 下限 7.5%

高齢者は、若い方の糖尿病と違い、認知機能・日常生活動作、薬剤の使用により、血糖コントロールの目標値を緩和する場合があります。このことについて、次回の「糖尿病ミニ講座」でお話しいたしますので、是非お越しください。

糖尿病ミニ講座の予定

開催日	講師	内容
11月 9日(水)	検査技師	検査値の見かたについて
1月 11日(水)	薬剤師	お薬について
3月 8日(水)	栄養士	食事療法について

場所 : 1階待合「ふれあいロビー」  
時間 : 11:00~11:40  
参加費 : 無料(申し込み不要)



笑顔でいるための、ブルーサークル。

11月14日は世界糖尿病デー。